

2014年3月期 第2四半期 決算説明会

2013年11月6日

eCREO) 株式会社クレオ

ZeeM

CREOSOL

FUDEMAME

ICT
Innovation
Company

CREO Networks CO.,LTD.
株式会社クレオネットワークス

CCL CUSTOMER
COMMUNICATION
& LINK

目次

Index

I. 決算概要

2014年3月期第2四半期(累計) 決算概要	P. 3
2014年3月期第2四半期(累計) 売上の概要	P. 4
2014年3月期第2四半期(累計) 営業利益の概要	P. 5
2014年3月期第2四半期(累計) 損益計算書の概要	P. 6
2014年3月期第2四半期(累計) 貸借対照表の概要①	P. 7
2014年3月期第2四半期(累計) 貸借対照表の概要②	P. 8
2014年3月期第2四半期(累計) キャッシュフロー計算書の概要	P. 9
2014年3月期の計画	P. 10

II. 事業の概況

セグメント毎の概況 クレオマーケティング事業	P. 12
セグメント毎の概況 クレオソリューション事業	P. 13
セグメント毎の概況 筆まめ事業	P. 14
セグメント毎の概況 クレオネットワークス事業	P. 15
セグメント毎の概況 クリエイトラボ事業	P. 16
その他特記事項	P. 17
【ご参考】リリース一覧(2013年4月～2013年6月)	P. 18
【ご参考】リリース一覧(2013年7月～2013年9月)	P. 19

決算概要

Financial Results

2014年3月期第2四半期(累計) 決算概要

(単位:百万円)

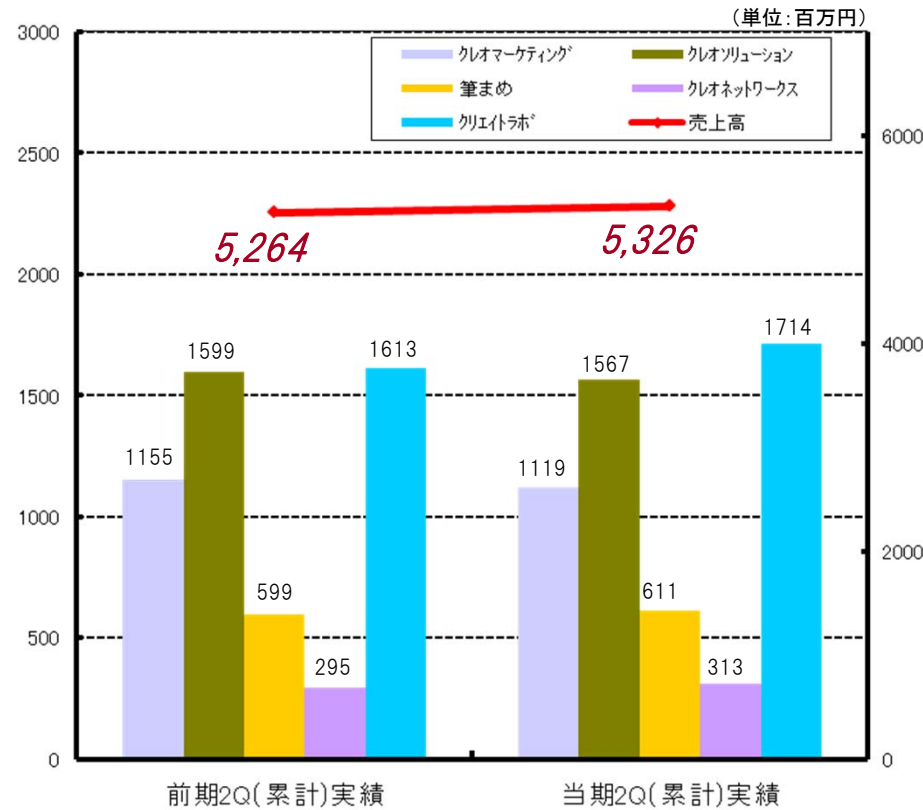
	前期2Q(累計) 実績	当期2Q(累計) 実績	増減率 対前年同期比	当期2Q(累計) 計画値
売上	5,264	5,326	1.2 %	5,200~5,600
営業利益	246	155	△37.0 %	—
経常利益	249	158	△36.3 %	130~170
当期純利益	189	87	△53.6 %	80~120

■ 連結決算概要について

- ・当期第2四半期(累計)計画値に関しては、売上、経常利益、当期純利益、共に公表値内。
- ・売上は、各事業共に堅調に推移し、前年同四半期より微増。
- ・営業利益、経常利益、当期純利益に関しては、各事業における先行投資等が影響し、前年同四半期より減少。

2014年3月期第2四半期(累計) 売上の概要

売上高: セグメント別



	前期 2Q(累計) 実績	当期 2Q(累計) 実績	増減額	増減率
クレオ マーケティング	1,155	1,119	△35	△3.1%
クレオ ソリューション	1,599	1,567	△31	△2.0%
筆まめ	599	611	11	1.9%
クレオ ネットワークス	295	313	18	6.1%
クリエイティブ	1,613	1,714	100	6.2%
連結合計	5,264	5,326	62	1.2%

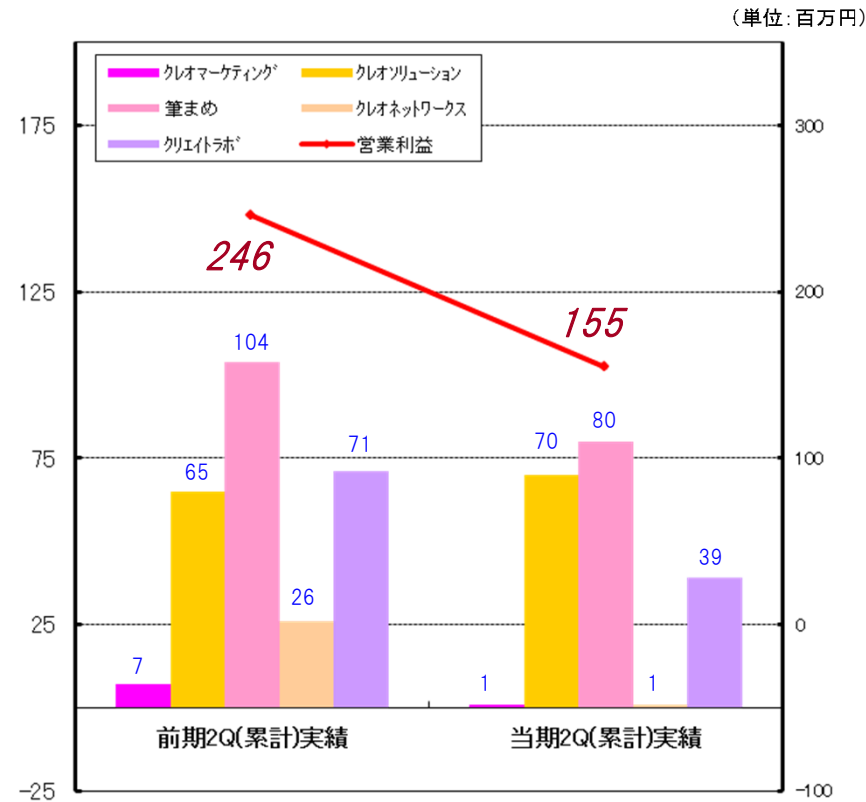
四半期別売上高

(単位: 百万円)

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
前期	2,109	3,154	2,736	3,044
当期	2,164	3,162	-	-

2014年3月期第2四半期(累計) 営業利益の概要

営業利益:セグメント別



	前期 2Q(累計) 実績	当期 2Q(累計) 実績	増減額	増減率
クレオ マーケティング	7	1	△5	△78.8%
クレオ ソリューション	65	70	4	6.6%
筆まめ	104	80	△24	△23.1%
クレオ ネットワークス	26	1	△25	△94.5%
クリエイティブ	71	39	△31	△43.8%
連結合計	246	155	△91	△37.0%

四半期別営業利益

(単位:百万円)

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
前期	△49	295	△119	306
当期	△167	322	—	—

※連結合計は上記表記以外にセグメント間取引の消去や
 全社費用(セグメント間取引消去)を加味した合計値と
 なっております。

2014年3月期第2四半期(累計) 損益計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	当期2Q (累計)		前期2Q (累計)
	金額	増減	金額
売上高	5,326	62	5,264
営業費用	5,171	154	5,017
営業利益	155	△91	246
営業外損益	3	1	2
経常利益	158	△92	249
特別利益	—	—	—
特別損失	0	—	—
税引前当期利益	158	△92	249
法人税等	67	9	57
少数株主利益(控除)	1	0	1
当期純利益	87	△101	189

増減ポイント

〈売上高〉〈営業損益〉

・「決算の概要」の通り

〈特別利益・損失〉

・今期は発生なし

2014年3月期第2四半期(累計) 貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2013/9末		2013/3末
	金額	増減	金額
資産合計	6,824	290	6,533
流動資産	5,596	107	5,489
現金・預金	2,566	△357	2,923
受取手形及び売掛金	2,303	310	1,993
棚卸資産	447	193	254
その他	278	△39	318
貸倒引当金	-	-	-
固定資産	1,227	183	1,044
有形固定資産	180	9	171
無形固定資産	764	113	652
のれん	4	△1	5
その他	760	113	646
投資等	282	62	220

増減ポイント

<流動資産>

■ 現金及び預金

・法人税等、夏季賞与等の支払による減少

■ 受取手形及び売掛金

・筆まめ出荷、システム開発9月検収による増加

<固定資産>

■ 無形固定資産

・筆まめ、ZeeMの開発投資による増加

■ 投資等

・ビジネスブレイン太田昭和への出資による増加

2014年3月期第2四半期(累計) 貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2013/9末		2013/3末
	金額	増減	金額
負債合計	2,162	241	1,921
流動負債	2,060	237	1,822
買掛金	509	60	448
その他	1,550	176	1,373
固定負債	102	3	99
純資産合計	4,661	49	4,612
資本金	3,149	0	3,149
資本剰余金	743	0	743
利益剰余金	887	44	843
自己株式	△154	0	△154
株式等評価差額金	4	4	0
少数株主持分	31	1	30
負債純資産合計	6,824	290	6,533

増減ポイント

<流動負債>

- 返品調整引当金
- ・ 筆まめの上期末売上増に伴う増加

<純資産>

- 利益剰余金
- ・ 四半期利益による増加

2014年3月期第2四半期(累計) キャッシュフロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	当期2Q (累計)		前期2Q (累計)
	金額	増減	金額
営業活動CF	64	456	△392
税金等調整前当期純利益	156	△92	249
減価償却費	205	61	143
売上債権の増減額(増加:△)	△310	396	△707
棚卸資産の増減額(増加:△)	△194	△64	△129
仕入債務の増減額(減少:△)	60	△180	241
その他	147	337	△190
投資活動CF	△378	23	△401
有形固定資産の取得	△23	△12	△10
無形固定資産の取得	△293	98	△392
その他	△62	△62	1
財務活動CF	△43	12	△55
長期借入による収入	-	△9	9
長期借入の返済による支出	-	14	△14
その他	△43	7	△50
現金及び現金同等物の期首残高	2,923	△642	3,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,566	△150	2,717

増減ポイント

〈営業活動
キャッシュフロー〉
・税金等調整前四半期純利益、減価償却費等によって営業活動CFはプラス。

〈投資活動
キャッシュフロー〉
・製品開発投資の支出等による資金使用。

2014年3月期の計画

(単位:百万円)	第2四半期累計			通期		
	前期実績	当期実績	当期計画値	前期実績	当期計画値	計画値増減額 前年実績比
売上	5,264	5,326	5,200~ 5,600	11,044	11,000~ 12,000	△0.4%~ 8.7%
経常利益	249	158	130~170	439	350~450	△20.3%~ 2.5%
当期(四半期) 純利益	189	87	80~120	356	250~350	△29.8%~ △1.7%

■ 2014年3月期 通期計画値について

- 通期計画値は2013年5月14日発表値より修正なし
- 通期計画値「売上・経常利益・当期純利益」に関しては、
売上は増加を計画しておりますが、経常利益・当期純利益に関しては、
各事業において更なる売上拡大を目指した先行投資などを想定している為、
前期と同等水準を計画しております。

事業の概況

Enterprise General Condition

セグメント毎の概況

クレオマーケティング事業

中心会社

株式会社クレオマーケティング

主な事業

1) ZeeM事業

法人向け基幹系ソリューションZeeM(ジーム)を提供。
人事給与・会計などの製品を幅広くラインナップ。

2) 関西事業

法人向け業務システムや組み込み系ソフトウェア開発、
ZeeMの提供などを関西地方を中心に展開。

3) BPO事業

クレオグループ内に対して管理業務のシェアードサービスを実現。

人事給与 ZeeM	会計 ZeeM
人事管理・給与計算業務の 効率向上と高付加価値化を実現	制度会計～管理会計まで、業務 の効率化と高付加価値化を実現
就業管理 ZeeM	固定資産管理 ZeeM
パート・アルバイトの勤怠から 労務コンプライアンスまで	IFRSで複雑化した固定資産の 業務軽減と減価償却の最適化
人材開発 ZeeM	
目標管理・人事考課～キャリア 開発まで幅広い人事戦略を支援	

事業概況

- 売上は、ZeeM製品を中心に展開をしたが、前年同四半期と同水準(微減)となった。
- 利益に関しては、売上微減の影響とZeeM製品20周年プロモーション費用等が発生した結果、前年同四半期を下回る。
- 下期は、ZeeM製品20周年プロモーションによる受注増と大株主であるアマノ社との協業を進め、売上と利益の向上を図る。

セグメント毎の概況

クレオソリューション事業

CREOSOL

中心会社

株式会社クレオソリューション

主な事業

1) サービス事業

Yahoo! JAPANとの協業による「安否確認サービス」を提供。

Eコマース向けロコミプラットフォーム「SCP」など、協業によるサービス開発や独自サービスの企画・開発。

2) ソリューション事業

ネットワークやシステムの企画・開発から構築、アプリケーションソフトの導入、運用サポートまでに対応するシステムインテグレーションサービスの提供。

3) アウトソース事業

大手企業に対するインフラ構築、運用保守などのアウトソーシングサービスの提供。



事業概況

- 既存顧客との関係強化ならびに不採算防止プロジェクトを徹底した結果、大規模不採算プロジェクトの発生を防ぐ事ができ、売上利益共に前年同四半期と同等水準となる。
- 下期は、引続きプロジェクト進捗管理強化、独自サービスの新規顧客獲得、既存顧客との連携強化を実施し、人材採用ならびに人材育成にも力を入れる。

セグメント毎の概況

筆まめ事業



中心会社

株式会社筆まめ

主な事業

下記製品などを企画・開発し、個人向け製品や、法人向けライセンス製品として提供。

- 1) パッケージソフト製品の代表格「筆まめ」シリーズ
- 2) DTPソフト「パーソナル編集長」シリーズ
- 3) フォトムービーソフト「デジカメde!!ムービーシアター」シリーズ

など



事業概況

- 売上は、フォトムービー作成ソフト「デジカメde!!ムービーシアター4」関連製品が堅調に推移し、前年同四半期より微増となる。
- 利益に関しては、9月に発売した毛筆ソフト「筆まめVer.24」の前年比出荷減の影響、ならびに販売促進費用が増加した結果、前年同四半期を下回る。
- 下期は、年末商戦に向け「筆まめVer.24」販売強化と他製品を投入し、売上・利益増を図る。

セグメント毎の概況

クレオネットワークス事業



中心会社

株式会社クレオネットワークス

主な事業

1) ICTサービス事業 ビジネスの効率化・高品質化を実現するビジネス基盤サービス

「SmartStage」(スマートステージ) ブランド

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ・テンプレート型業務プロセス管理ツール | 「BizOne」 |
| ・クラウド型 ビジネスプロセス管理プラットフォーム | 「BizPlatform」 |
| ・ハイエンドICT基盤サービス | 「N-CLOUD」 |



2) メディア事業 「IT×メディア」で各種媒体・業態に新しい価値を付加するサービス

「2 Media」(トゥメディア)ブランド

- | | |
|--|-------------|
| ・B2C向けサービスサイト 素材ダウンロード/写真プリント/ポスター出力サービス | 「楽だねOnline」 |
| ・Web To Printサービス 自動組版・完全版下生成APIサービス | 「W2Pクラウド」 |



事業概況

- ・売上は、主力製品であるクラウド型・ビジネスプロセス管理プラットフォーム「SmartStage BizPlatform」を中心に堅調に進み、前年同四半期に比べ売上は増加となる。
- ・利益は販売体制強化による費用増に伴い、前年同四半期を下回る。
- ・下期は、販売体制強化や他社との業務提携を活かし、売上・利益増を目指す。

セグメント毎の概況

クリエイラボ事業



中心会社

株式会社クリエイラボ 株式会社ヒューマン・ネットワーク 株式会社アイティアイ

主な事業

1) ヘルプデスクを中心としたサポート&サービスの提供

- ・高品質なスタッフによる生産性の高いサポートセンターの構築
- ・専門ノウハウを活かした運營業務の効率化
- ・アウトソーシングによる雇用リスクの軽減および固定費の変動費化
- ・お客様の声を的確に反映する顧客満足度分析などを実現



事業概況

- ・売上は、社員教育強化による個々人のスキル向上の継続、3社による協調と連携の強化努めた結果、前年同四半期に微増となる。
- ・利益は、人材採用・育成に先行投資をした結果、前年同四半期に比べ減少となる。
- ・下期は、引続き人材育成、3社連携の強化を続け、競争力強化による受注増を目指す。

■ その他特記事項

当社筆頭株主であるアマノ株式会社との協業進捗について

■2013年3月8日付で当社筆頭株主となりましたアマノ株式会社との協業は現在主に下記の形で進んでおります。

【クレオマーケティング事業】

- ・アマノ株式会社の2013年9月に出荷開始した新システム「TimePro-VG就業」とクレオマーケティングの「ZeeM人事給与・会計」システムとの連携強化やアマノ社の販売網を活かした営業活動を推進しており、両社協業による商談が現在進行中です。
- ・クレオマーケティングの関西事業において、アマノ株式会社の製品の開発支援が現在進行中です。

【筆まめ事業】

- ・アマノ株式会社のアマノ公式オンラインショップにて、毛筆ソフト「筆まめ」などのパッケージ製品の販売が始まりました。

【クリエイトラボ事業】

- ・アマノ株式会社に対して、保守サポートや人材派遣などでクリエイトラボの業務提供が始まりました。

引続き、協業の歩みを進め、
今後開示すべき事項が発生した場合には随時お知らせいたします。

【ご参考】リリース一覧(2013年4月～2013年6月)

	赤字:主なIR 黒字:主なプレスリリース
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・【筆まめ】『筆まめVer.23 オールシーズンパック』など 2013年4月5日(金)発売
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・【筆まめ】『デジカメde!!ムービーシアター4 書籍セット』など2013年6月7日(金)発売 ・【筆まめ】『デジカメde!!ムービーシアター4 Wedding』など2013年6月7日(金)発売 ・【クレオマーケティング】金城学院、ZeeM人事給与 学校法人版導入で、人事給与業務効率化
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・【クレオソリューション】『Yahoo!安否確認サービス』防災EXPOに出展 ・【クレオネットワークス】クラウド型BPMツール「BizOne/BizPlatform」をアップデート ・【クレオネットワークス】「N-CLOUD バーチャルDC」がVMware vCLOUD Powered認定を取得

【ご参考】リリース一覧(2013年7月～2013年9月)

	赤字:主なIR 黒字:主なプレスリリース
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・【クレオマーケティング/クレオネットワークス】株式会社サイゼリヤ、「ZeeM on Cloud」を導入 ・【筆まめ】ダウンロードショップ『筆まめ厳選デザインショップ』2013年7月25日(木)、リニューアルオープン ・株式会社ビジネスブレイン太田昭和への出資に関するお知らせ
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・【クレオネットワークス】ネットサービス、「楽だねonline WeddingPlus」のテスト運用を開始 ・【クレオネットワークス】動画広告/印刷事業者向けクラウドサービス「2Media」をスタート ・【筆まめ】年賀状ソフト『筆まめVer.24』2013年9月6日(金)発売 ・【筆まめ】筆まめのダウンロード版『筆まめSelect2014』等 2013年9月6日(金)発売 ・【筆まめ】『筆まめ純正デザイン集2014年版』2013年9月6日(金)発売 ・【クレオマーケティング】聖マリアンナ医科大学、人事給与業務基盤を刷新
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・【クレオソリューション】宮城トヨタ自動車グループ、災害対策の一環として「Yahoo!安否確認サービス」を導入 ・【クレオマーケティング】藤久株式会社、業員約3000名の業務を支える人事給与基盤を刷新 ・【筆まめ】年賀状ソフト「筆まめVer.24」イメージキャラクターにウルトラセブンを起用

—ご清聴ありがとうございました—



<IR窓口> 株式会社クレオ 広報IRグループ : TEL03-5769-3640

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。